

会 議 録

会議の名称		守谷市図書館協議会（令和7年度 第2回）		
開催日時		令和7年11月4日(金) 開会：15時00分 閉会：16時30分		
開催場所		もりりん中央 講座室1		
事務局（担当課）		教育委員会 中央図書館		
出席者	委員	長谷川委員、野口副委員、岡宮委員、吉澤委員、赤堀委員、古橋委員、畑石委員、堀越委員、千委員、広永委員 (出席：10名)		
	その他			
	事務局	平塚館長、柳葉副館長		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2人
公開不可の場合 はその理由				
会議次第		1 開 会 2. 挨 拶 3. 協 議 (1) 令和6年度図書館事業実績評価について (2) 守谷中央図書館大規模改修工事の進捗状況について (3) その他 4. 閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和8年1月23日		長 谷 川 登 代		

審 議 経 過

1 開 会

柳葉副館長 10名の委員が出席、守谷市図書館協議会設置条例第6条第2項の規定により会議は成立。傍聴者は2名。

2 挨 拶

長谷川委員長
—委員長挨拶—

3 協 議

(1) 令和6年度図書館事業実績評価について

長谷川委員長：協議（1）令和6年度図書館事業実績評価について、事務局から説明をお願いします。

—平塚館長から実績評価について、資料を基に説明—

千 委 員：多くの図書館が来館者数の回復に苦戦されていると伺っております。その中で、貴館の回復ぶりが特に際立っていると感じております。来館者数がコロナ禍前の2019年頃の水準まで回復しているのか、現在の状況についてお聞かせいただけますでしょうか。

平塚館長：はい、2019年頃の水準まで来館者数は回復しており、さらに年間1万人単位で増加しています。

千 委 員：貸出数については、全国的に減少傾向にあるため、守谷の図書館も同様に減少しているのは理解できます。しかし、この貸出数の減少は、資料費の削減が影響しているのでしょうか。それとも、資料費は減っていないにもかかわらず、貸出数が減少した、といった状況なのでしょうか。

平塚館長：資料費については、令和6年度まで変更はありません。

千 委 員：なるほど。つまり、入館者数は増えているものの、貸出数は減少しているという状況なのですね。理解いたしました。

(2) 守谷中央図書館大規模改修工事の進捗状況について

長谷川委員長：協議（2）守谷中央図書館大規模改修工事の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

—柳葉副館長から、大規模改修工事の進捗状況について、資料を基に説明—
<意見なし>

(3) その他

—① 平塚館長から、開館日数と休館日の見直しについて、資料を基に説明—

堀越委員：職員の業務負担や財政状況を考慮すると、休館日の設定に見直しの余地はないでしょうか。特に、現行の開館日数が職員の働きやすさや施設の効率的な運用に影響を与えていないか、お聞かせください。

平塚館長：当館は10年近くほぼ年中無休で開館しており、市民には「いつでも開いている図書館」という認識が定着しています。

しかし、職員の持続可能な労働環境の確保や、限りある財源の中で市の財政が厳しさを増しているという現状があります。

職員の健康維持と適切な施設メンテナンスの両面から、休館日の設定は必要不可欠と考えております。特に、若い職員が長く働きたいと思える職場環境を整備することは、組織として非常に重要です。

また、他市事例として、TX沿線の柏市、流山市、三郷市など、近隣自治体の図書館運営状況を調査しました。茨城県内の指定管理図書館は開館日数が多く、当市も指定管理導入後7年間、現在の開館時間・日数を継続しています。土浦市では、駅直結の図書館が平日20時まで開館する一方、休日は18時閉館とするなど、平日と休日の開館時間を分けている事例もあります。これは、都市部の図書館でよく見られる傾向です。

今後の対応として、リニューアル後の運営に際し、開館時間の短縮や休館日の設定については、職員間でも意見が分かれています。しかし、この機会に新たな運営形態を検討し、次回協議会で具体的な検討資料を提示します。これは、市民の皆様にとっても混乱を最小限に抑え、より良いサービスを提供するための重要なステップと考えております。

長谷川委員長：はい、そうですね。今回の見直しがうまく機能して、良い方向に向かうといいですね。

広永委員：図書館は、スーパーマーケットやコンビニとは違いますから、年中無休で開いている必要はないのではないのでしょうか。休むべき日はきちんと休んで、運営していくべきだと考えます。

赤堀委員：長い時間開いていることが、その地域にとって本当に良いのかという点ですが、以前行ったアンケートでは、夜間、特に夏休み期間は利用者がいましたが、暗くなってからはあまり来なかったという結果もありました。職員の方が働きやすい環境を整え、利用者が効率的に利用できるような形にすべきです。

野口委員：休館日を設けることで、職員全員で館内研修を行い、スキルアップを図る機会にすることもできると思います。単に休むということだけでなく、研修を通じて専門性を高め、市民サービス向上に繋がるという点を、市民の方々にも説明していくと良いのではないのでしょうか。

畑石委員：開館日数や時間の見直しにあたり、市民の意見を広く聞くためのアンケート調査は実施されるのでしょうか。特に、高校生や大学生など、特定の年齢層の意見も反映されるような調査方法を検討していただきたいです。

平塚館長：アンケートは未定ですが、もし実施するならば、ご意見を参考にさせていただきます。時間帯や曜日ごとの利用データは既にあり、夕方6時以降の利用者が少ないことは数字にも表れています。ただ、平日の中高生が自習に利用していることは把握しており、その点はどうすべきか検討が必要です。駐車場が暗いというご指摘は承知しておりますが、閉館時間帯は利用者がいないため、なかなか難しい部分もあります。ただ、LED化されているので、以前よりは省エネになっているはずです。

吉澤委員：夜間の街灯についてですが、周辺が暗いと、利用しにくくなりますよね。閉館時はかなり暗くて危険だという声もあります。足りないところは、増やすよう要望してもいいかもしれません。ただ、電気代もかかるので、そのバランスが難しいところですね。LED化による省エネ効果も期待できるのではないのでしょうか。

平塚館長：夜間の駐車場が暗いというご意見は承知しております。利用者の安全確保と省エネルギーのバランスを考慮し、街灯の設置や照度について改善を検討いたします。LED化は省エネに繋がりますので、その点も含めて検討を進めてまいります。

－② 次回協議会の日程調整－

第3回図書館協議会の開催日程について調整の提案があり、関係者間で検討しました。検討した結果、令和8年1月23日（金）15時30分から場所は守谷市役所ミーティングルームに決定しました。

4 閉会

柳葉副館長：それでは、以上をもちまして本日の図書館協議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。